



2022年3月期第1四半期 決算説明資料

2021.8.5

TIS株式会社

© 2021 TIS Inc.

(2021年8月5日開催 アナリスト向け決算説明会 プレゼンテーション要旨)

- ・TISの河村でございます。よろしくお願いいたします。
- ・それでは、本日15時半に発表いたしました、当社の第1四半期決算の内容につきまして、決算説明資料を使ってご説明させていただきます。

2022年3月期第1四半期 業績概要

- ・前年同期比増収増益、営業利益は初の100億円超え
- ・売上総利益率向上が牽引し、営業利益率は9.0%へ向上
- ・受注高、受注残高とも積み上がり、前年同期比増加

- ・まず、2ページをご覧ください。
 - ・今回の第1四半期決算のハイライトは、
 - ・前年同期比大幅増収増益、営業利益は初の100億円超えという力強い着地であったこと。
 - ・売上総利益率が前年同期比1.3ポイント向上の24.4%となり、先行投資コスト増を吸収して営業利益率が9.0%に向上したこと。
 - ・受注状況も好調で、ソフトウェア開発の増加が牽引して前年同期比増加となったこと。
- です。
- ・以上の3点から、新しい中期経営計画は出足好調だったといえます。

2022年3月期第1四半期 業績概要

2022年3月期 業績見通し

参考資料

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、TISインテックグループ（TISおよびグループ会社）が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・各四半期会計期間（3か月）の数値は累計期間の差引により算出しています。
- ・各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。
- ・2022年3月期第1四半期より、「収益認識に関する会計基準」を適用しています。

(説明省略)

2022年3月期第1四半期 業績概要

2022年3月期 業績見通し

参考資料

(説明省略)

2022年3月期第1四半期 業績ハイライト（前年同期比）



・顧客のデジタル変革需要をはじめとするIT投資需要の好調な推移に加え、M&A効果も寄与し、増収増益。営業利益率は9.0%へ向上。

（百万円）	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前年同期比	
売上高	100,399	113,520	+13,121	(+13.1%)
営業利益	7,678	10,258	+2,580	(+33.6%)
営業利益率	7.6%	9.0%	+1.4P	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,527	7,002	+1,475	(+26.7%)
四半期純利益率	5.5%	6.2%	+0.7P	—

・営業外収益：912百万円（前期比 ▲176百万円）
・営業外費用：311百万円（前期比 +86百万円）

・特別利益：0百万円（前期比 ▲4百万円）
・特別損失：328百万円（前期比 ▲119百万円）

- ・それでは、5ページをご覧ください。
- ・2022年3月期第1四半期の業績概要です。
- ・顧客のデジタル変革需要をはじめとするIT投資需要の好調な推移に加えて、MFEC等、前期中に子会社化した企業の業績反映により、売上高は前年同期比131億円増の1,135億円となりました。
- ・営業利益は前年同期比25億円増の102億円となり、営業利益率も9.0%となりました。
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益は営業利益の増加を背景として、前年同期比14億円増の70億円となり、いずれも好調な結果となりました。

**2022年3月期第1四半期
主要セグメント別損益状況（前年同期比）**



	(百万円)	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前年同期比	
サービスIT	売上高	30,148	36,897	+6,749	(+22.4%)
	営業利益	1,144	2,054	+910	(+79.5%)
	営業利益率	3.8%	5.6%	+1.8P	—
BPO	売上高	8,280	8,897	+617	(+7.5%)
	営業利益	557	678	+120	(+21.6%)
	営業利益率	6.7%	7.6%	+0.9P	—
金融IT	売上高	25,721	29,571	+3,850	(+15.0%)
	営業利益	2,774	3,584	+809	(+29.2%)
	営業利益率	10.8%	12.1%	+1.3P	—
産業IT	売上高	43,473	44,492	+1,018	(+2.3%)
	営業利益	3,104	3,673	+569	(+18.3%)
	営業利益率	7.1%	8.3%	+1.2P	—

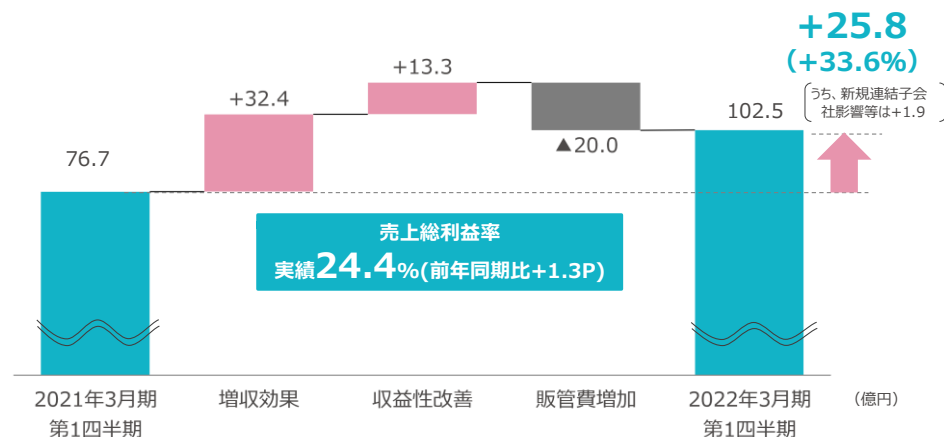
サービスIT：デジタル化の進展に伴うIT投資需要の取り込み(決済・マーケティング領域)に加え、M&A効果も寄与し、増収増益。
 BPO：保険業界をはじめとする企業のアウトソーシングニーズの高まりを受けて堅調に推移し、増収増益。
 金融IT：クレジットカード系の根幹先顧客におけるIT投資拡大の動き等を受け、増収増益。
 産業IT：M&A効果に加え、根幹先顧客が堅調。収益認識基準適用に伴う減収影響を吸収し、増収増益。

© 2021 TIS Inc.

6

- ・続いて、主要なセグメント別の状況です。4つのセグメントすべてにおいて増収増益となり、営業利益率も力強く向上しました。
- ・「サービスIT」は、デジタル化の進展に伴う決済やマーケティング関連等のIT投資需要の取り込みに加え、先ほど申し上げたMFECの業績が反映されたことにより、売上高は前年同期比22.4%増の368億円、営業利益は前年同期比79.5%増の20億円となりました。
- ・「BPO」は、保険業界をはじめとした企業のアウトソーシング需要が引き続き堅調に推移し、売上高は前年同期比7.5%増の88億円、営業利益は21.6%増の6.7億円となりました。
- ・「金融IT」は、カード系の根幹先顧客におけるIT投資拡大の動きを受けて、売上高は前年同期比15.0%増の295億円、営業利益は前年同期比29.2%増の35億円となりました。
- ・「産業IT」は、根幹先顧客の堅調なIT投資や、前期は抑制傾向にあった中堅中小企業のIT投資需要が回復に転じたこと等により、売上高は前年同期比2.3%増の444億円、営業利益は前年同期比18.3%増の36億円となりました。なお、「産業IT」においては、約10億円の収益認識基準の適用に伴う減収影響がありました。

2022年3月期第1四半期
営業利益要因別増減分析（前年同期比）



構造転換推進のための先行投資コスト：前年同期比+4.5

（売上原価：+0.7 販管費+3.8）

✓「新サービス創出のためのソフトウェア投資」
 ✓「構造転換を促進するための人財投資」
 ✓「先端技術獲得のための研究開発投資」

に関するコスト

働き方改革推進のためのオフィス改革コスト：前期比+9.2

（売上原価：+3.3 販管費+5.9）

<販管費増減>

新規連結子会社影響等	+9.0
オフィス改革	+5.9
ブランド関連	+1.7
経費削減・本社機能高度化	+1.0
先行投資・その他	+2.5
計	+20.0

© 2021 TIS Inc.

7

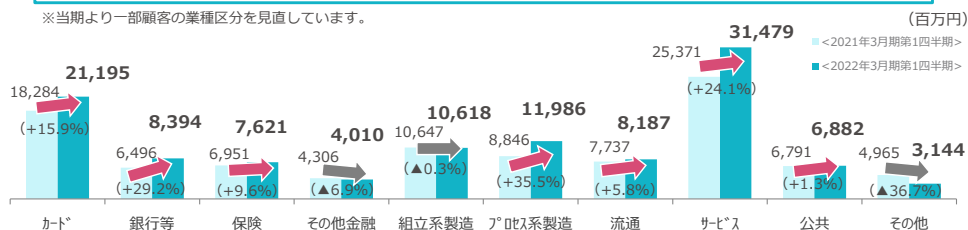
- ・次に、営業利益の要因別増減分析です。
- ・増収効果及び収益性改善による売上総利益の増加が販管費の増加をしっかりと吸収して前年同期比25.8億円の営業増益となっています。
- ・売上総利益率は、高付加価値ビジネスの提供、生産性向上施策の推進等により、前年同期比1.3ポイント上昇の24.4%へ向上し、これが営業利益率の1.4ポイント上昇につながっています。
- ・販管費は、働き方改革推進のためのオフィス改革投資等、将来の成長に資する投資を積極的に実行したことで前年同期比20億円増加しましたが、販管費率は前年同期と同水準を維持しました。
- ・なお、第1四半期の不採算案件は、4億円弱で前年同期に比べて小幅増という結果でした。

2022年3月期第1四半期 顧客業種別売上高

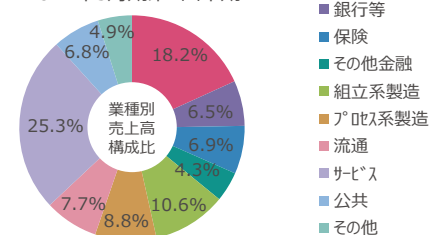


・根幹先顧客を中心にカード、プロセス系製造が好調。銀行、サービスの増加はM&A効果が寄与。

※当期より一部顧客の業種区分を見直しています。

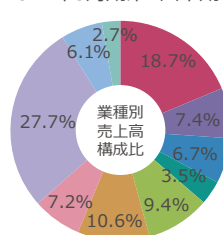


<2021年3月期第1四半期>



金融分野：35.9% 産業分野：52.4%
公共分野：6.8% その他：4.9%

<2022年3月期第1四半期>



金融分野：36.3% 産業分野：54.9%
公共分野：6.1% その他：2.7%

© 2021 TIS Inc.

8

- ・8ページをご覧ください。顧客業種別売上高の状況です。
- ・根幹先顧客を中心に「カード」、「プロセス系製造」が好調に推移しました。また、「銀行」・「サービス」の増加にはMFECの業績反映が寄与しました。多くの業種で前年同期比増加していることから、事業環境が上向いていることがわかりいただけるかと思います。

2022年3月期第1四半期 受注状況（全体）



・ソフトウェア開発の積み上がりが牽引し、受注高・受注残高とも前年同期比増加。サービスITの増加はM&A効果が寄与。

(百万円)	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前年同期比	
当期受注高	76,822	88,709	+11,886	(+15.5%)
サービスIT	23,695	24,779	+1,084	(+4.6%)
BPO	7,581	8,331	+749	(+9.9%)
金融IT	12,421	17,669	+5,248	(+42.3%)
産業IT	33,124	37,929	+4,804	(+14.5%)
期末受注残高	110,524	123,519	+12,995	(+11.8%)
サービスIT	31,481	35,858	+4,376	(+13.9%)
金融IT	31,257	36,309	+5,051	(+16.2%)
産業IT	47,784	51,352	+3,567	(+7.5%)

© 2021 TIS Inc.

■ 9

- ・9ページから10ページでは受注状況を示しています。従来のソフトウェア開発の受注状況に加え、当期より運用を含めた全体の受注状況も四半期ごとに開示してまいります。
- ・まず9ページが全体受注の状況です。
- ・受注高は前年同期比15.5%増の887億円、受注残高は同じく11.8%増の1,235億円となりました。前下期から事業活動が概ね正常化したことを受け、この後ご説明するソフトウェア開発の増加が牽引役となって好調に推移しました。また、業績面と同じく、前期に子会社化した企業の受注高・受注残高の反映も増加を後押ししています。

2022年3月期第1四半期 受注状況（ソフトウェア開発）



・受注高、受注残高とも前年同期比増加。根幹先顧客向け好調を背景に積み上がった金融IT及び産業ITが牽引。サービスITは小幅減少だが、主に個別案件の影響によるもの。

(百万円)	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前年同期比	
当期受注高	49,804	61,326	+11,521	(+23.1%)
サービスIT	15,068	14,648	▲419	(▲2.8%)
金融IT	9,770	14,479	+4,708	(+48.2%)
産業IT	24,965	32,197	+7,232	(+29.0%)
期末受注残高	76,410	84,794	+8,383	(+11.0%)
サービスIT	18,619	20,216	+1,596	(+8.6%)
金融IT	22,722	25,502	+2,780	(+12.2%)
産業IT	35,068	39,075	+4,006	(+11.4%)

© 2021 TIS Inc.

■ 10

- ・では、「ソフトウェア開発」の受注状況について10ページでご説明します。
- ・受注高・受注残高とも、根幹先顧客を中心にしっかり積みあがった金融IT、産業ITが牽引し、好調に推移しました。サービスITの受注高のみ小幅減少となっていますが、主に個別案件の影響、いわば受注の波によるものであり、実勢ベースでは特段問題ないと考えています。
- ・以上が、第1四半期決算の実績に関する説明となります。

2022年3月期第1四半期 業績概要

2022年3月期 業績見通し

参考資料

・次に、通期業績見通しについてご説明します。12ページをご覧ください。

2022年3月期 業績予想ハイライト ※変更なし



・顧客のデジタル変革需要への的確な対応による事業拡大に加え、前期中に子会社化した企業の業績が通期にわたって反映されることにより、業績伸長を見込む。

(百万円)	2021年3月期 実績	2022年3月期 計画	前期比	
売上高	448,383	470,000	+21,617	(+4.8%)
営業利益	45,748	48,500	+2,752	(+6.0%)
営業利益率	10.2%	10.3%	+0.1P	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	27,692	32,200	+4,508	(+16.3%)
当期純利益率	6.2%	6.9%	+0.7P	—
1株当たり当期純利益 (円)	110.51	128.78	+18.27	(+16.5%)
ROE *1	10.8%	11.5%	+0.7P	—

*1 2022年3月期のROEは、試算値。

- ・第1四半期の実績は出足好調といえる内容でしたが、依然として外部環境の先行きが不透明であることを踏まえて、2022年3月期の通期業績見通しの変更は現時点ではありません。
- ・売上高は前期比4.8%増の4,700億円、営業利益は前期比6.0%増の485億円、親会社株主に帰属する当期純利益は前期比16.3%増の322億円と、業績伸長を見込んでいます。引き続き、収益性重視の上で案件獲得・受注積上げ等を推進し、期初計画の達成をより確かなものにしてまいります。
- ・以上で、説明を終了させていただきます。

2022年3月期 主要セグメント別損益状況（予想）

※変更なし

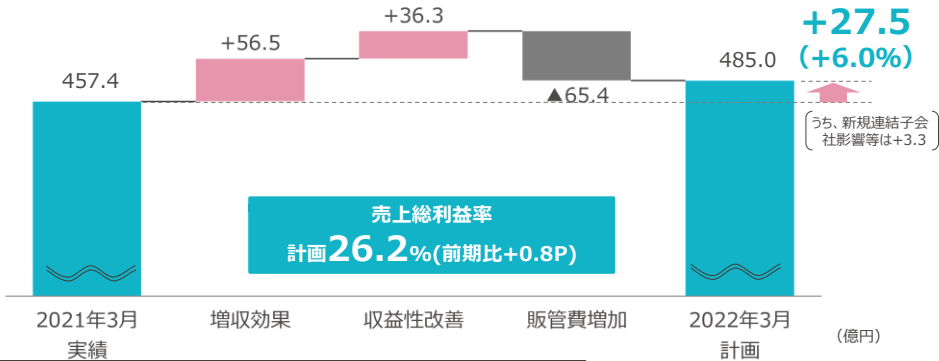


	(百万円)	2021年3月期 実績	2022年3月期 計画	前期比	
サービスIT	売上高	136,946	155,500	+18,554	(+13.5%)
	営業利益	8,695	10,800	+2,105	(+24.2%)
	営業利益率	6.3%	6.9%	+0.6P	－
BPO	売上高	35,453	36,000	+547	(+1.5%)
	営業利益	3,105	3,300	+195	(+6.3%)
	営業利益率	8.8%	9.2%	+0.4P	－
金融IT	売上高	110,660	117,000	+6,340	(+5.7%)
	営業利益	15,320	16,000	+680	(+4.4%)
	営業利益率	13.8%	13.7%	▲0.1P	－
産業IT	売上高	194,414	191,000	▲3,414	(▲1.8%)
	営業利益	18,710	19,200	+490	(+2.6%)
	営業利益率	9.6%	10.1%	+0.5P	－

サービスIT：決済関連ビジネスのIT投資需要の取り込みのほか、前期中に連結化した効果の通期寄与により、増収増益の計画。
 BPO：アウトソーシング需要の堅調な推移と収益性改善の継続により、増収増益の計画。
 金融IT：根幹先顧客を中心としたIT投資の増加を受けて、増収増益の計画。
 産業IT：減収計画は「収益認識に関する会計基準」の適用による影響。実勢ベースは堅調で増収増益を見込む。

（説明省略）

・高付加価値ビジネス推進や生産性向上等がオフィス改革コストを含めた積極的な成長投資に伴うコスト増を吸収し、営業増益を見込む。



構造転換推進のための先行投資コスト：前期比+25.0

(売上原価：+10.0 販管費+15.0)

- ✓「新サービス創出のためのソフトウェア投資」
 - ✓「構造転換を促進するための人財投資」
 - ✓「先端技術獲得のための研究開発投資」
- に関するコスト

働き方改革推進のためのオフィス改革コスト：前期比+35.0

(売上原価：+10.0 販管費+25.0)

＜販管費増減＞

新規連結子会社影響等	+20.1
オフィス改革	+25.0
ブランド関連	+0.0
経費削減・本社機能高度化	▲5.0
先行投資・その他	+25.3
計	+65.4

(説明省略)

2022年3月期第1四半期 業績概要

2022年3月期 業績見通し

参考資料

(説明省略)

2022年3月期上期

業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想） ※変更なし



(百万円)		2021年3月期 上期	2022年3月期 上期	前年同期比	
売上高		211,308	225,000	+13,692	(+6.5%)
営業利益		18,211	20,500	+2,289	(+12.6%)
営業利益率		8.6%	9.1%	+0.5P	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益		10,277	13,700	+3,423	(+33.3%)
四半期純利益率		4.9%	6.1%	+1.2P	—
主要セグメント別					
サービスIT	売上高	62,869	74,000	+11,131	(+17.7%)
	営業利益	2,572	4,300	+1,728	(+67.2%)
	営業利益率	4.1%	5.8%	+1.7P	—
BPO	売上高	17,066	17,500	+434	(+2.5%)
	営業利益	1,309	1,400	+91	(+7.0%)
	営業利益率	7.7%	8.0%	+0.3P	—
金融IT	売上高	53,590	57,000	+3,410	(+6.4%)
	営業利益	6,675	7,200	+525	(+7.9%)
	営業利益率	12.5%	12.6%	+0.1P	—
産業IT	売上高	91,473	90,000	▲1,473	(▲1.6%)
	営業利益	7,799	7,900	+101	(+1.3%)
	営業利益率	8.5%	8.8%	+0.3P	—

© 2021 TIS Inc.

*下期計画は通期計画から上期計画を控除したものです。

■ 16

(説明省略)

2022年3月期下期

業績ハイライト・主要セグメント別損益（予想） ※変更なし



(百万円)		2021年3月期 下期	2022年3月期 下期	前年同期比	
売上高		237,075	245,000	+7,925	(+3.3%)
営業利益		27,537	28,000	+463	(+1.7%)
営業利益率		11.6%	11.4%	▲0.2P	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益		17,415	18,500	+1,085	(+6.2%)
四半期純利益率		7.3%	7.6%	+0.3P	—
主要セグメント別					
サービスIT	売上高	74,076	81,500	+7,424	(+10.0%)
	営業利益	6,122	6,500	+378	(+6.2%)
	営業利益率	8.3%	8.0%	▲0.3P	—
BPO	売上高	18,387	18,500	+113	(+0.6%)
	営業利益	1,795	1,900	+105	(+5.8%)
	営業利益率	9.8%	10.3%	+0.5P	—
金融IT	売上高	57,069	60,000	+2,931	(+5.1%)
	営業利益	8,645	8,800	+155	(+1.8%)
	営業利益率	15.1%	14.7%	▲0.4P	—
産業IT	売上高	102,940	101,000	▲1,940	(▲1.9%)
	営業利益	10,910	11,300	+390	(+3.6%)
	営業利益率	10.6%	11.2%	+0.6P	—

© 2021 TIS Inc.

*下期計画は通期計画から上期計画を控除したものです。

■ 17

(説明省略)

2022年3月期第1四半期 プレスリリース/お知らせ①



発刊日付	タイトル
2021年4月1日	TISおよび連結子会社の人事異動、機構改革のお知らせ
2021年4月2日	TIS協賛の「第2回 未来と健康のための高校生ビジネスコンテスト」開催
2021年4月5日	クオリカ、コマツの生産現場で培った技術とノウハウを活かしたIoT生産支援プラットフォーム「KOM-MICS」を販売開始
2021年4月6日	ネクスウェイのSMS配信サービス『SMSLINK』、リックソフトの業務プロセス自動化ツール「Workato」と連携
2021年4月7日	インテック、複数クラウドサービスのID認証を一括で管理できる「ID認証サービス」に新機能を追加
2021年4月12日	TIS、XR技術を活用したサービスを「XR総合展」に出展
2021年4月16日	TIS、ローカル5G無線局免許を取得
2021年4月16日	インテック、インターネットEDIのデータ交換共通認証局認定制度の第一号認定を取得
2021年4月19日	世界最大規模のデータ分析コンペティション「Kaggle」において、高志インテックのデータサイエンティストが Gold メダルを獲得
2021年4月20日	TIS、地域医療情報連携システム「ヘルスケアパスポート」に医療機関から患者・家族へのセキュアなお知らせ機能を追加
2021年4月21日	TIS、「UiPath Partner Awards 2020」でパートナーアワードを受賞
2021年4月22日	TISと東和薬品がクラウド型地域医療情報連携サービス「ヘルスケアパスポート」の協業販売にむけたアライアンス契約を締結
2021年4月26日	栃木銀行がインテックの新サービス「F3（エフキューブ）法人向けソリューション営業支援サービス」を初採用
2021年4月26日	次世代型ITアウトソーシングサービスの中核機能「MSCC」をアップデート
2021年5月10日	インテック、老舗化粧品メーカー伊勢半のDX基盤をmcfame 7で構築
2021年5月17日	ネクスウェイの提供する「医薬情報おまとめ便サービス」が管理薬剤師認知率97%を突破
2021年5月21日	ユーザーの趣味趣向に合わせた観光地を提示できる観光型MaaS「札Navi」を札幌で実証事業
2021年5月25日	AWSの「Japan APN Ambassadors 2021」「2021 APN AWS Top Engineers」にTIS社員が選出
2021年5月25日	ネクスウェイ、反社チェックやPEPs確認までワンストップでのKYC業務支援を実現
2021年5月27日	TIS、経産省が定める「DX認定事業者」に選定
2021年5月31日	中央システム、クラウド型物品管理・棚卸システム『fine asset』をリニューアル
2021年5月31日	「ネクスウェイ本人確認サービス」、レプスの不動産クラウドファンด์システム「不特法クラウド」と連携
2021年6月1日	TISの健康活動サポートアプリ「ASTARI」、「楽天リワード」に対応
2021年6月3日	TISと日本IBM、メインフレームのモダン化セッションで協業
2021年6月3日	アグレックス、intra-mart ビジネスにおいて大きな功績をあげたパートナー企業に贈られる「intra-mart Award 2021」を受賞
2021年6月4日	TISインテックグループ、TCFD提言に向けた賛同を表
2021年6月4日	TIS、中国 清華大学の学生へ向けた創造性、革新性、起業家精神を育むためのイベント「学長杯」に協賛
2021年6月7日	TIS、XR技術を活用したバーチャルツアーサービス「XR Campus - ツアー」のトライアル版を提供開始

(説明省略)

2022年3月期第1四半期 プレスリリース/お知らせ②



発表日付	タイトル
2021年6月8日	マイデータ・インテリジェンスとアグレックス、改正個人情報保護法やアフターcookie 時代に対応する、同意情報管理を支援するサービス提供開始
2021年6月11日	京都市の医療・介護等の統合データ分析事業における生活習慣病に係る共同研究を東和薬品、TIS、ヘルステック研究所で実施
2021年6月11日	TISインテックグループコーポレート・サステナビリティ基本方針及び人権方針を制定
2021年6月16日	アグレックス、AWSサービスデリバリープログラム「Amazon EC2 for Windows Server」認定を取得
2021年6月17日	インテック、統合ログ管理「LogRevi」に従業員の行動を可視化する「行動管理レポート」機能を追加
2021年6月21日	TIS、地域の減災施策として電気自動車（EV）の新たな活用方法を山梨県北杜市の実証実験にて確立
2021年6月21日	連結子会社の人事異動のお知らせ
2021年6月22日	和歌山ワーケーションは業務生産性および心身健康の向上に寄与
2021年6月24日	AJS、アスプローバ社の「ブレイクスルーパートナーAward 2020」を受賞
2021年6月25日	TIS、中国のAIoT企業「南京苗米科技有限公司(Miaomi Technology)」と資本・業務提携
2021年6月28日	TIS、東京大学稲見研究室とXR技術を活用した遠隔コミュニケーションの社会実装に関する共同研究を開始

(説明省略)

ITで、社会の願い叶えよう。



<本資料の取り扱いに関して>

本資料は、著作権法及び不正競争防止法上の保護を受けております。資料の一部あるいは全部について、TIS株式会社から許諾を得ずに、複写、複製、転記、転載、改変、ノウハウの使用、営業秘密の開示等を行うことは禁じられております。本文記載の社名・製品名・ロゴは各社の商標または登録商標です。

(説明省略)